

義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書

提出 令和8年8月28日

亀山市議会議長 岡 本 公 秀 様

請願者

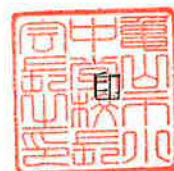
亀山市本丸町585番地
亀山市PTA連合会

会 長 上 村 幸 世



亀山市中庄町1405番地
亀山市小中学校長会

会 長 三 谷 敏 央



亀山市上野町14-11
三重県教職員組合鈴鹿亀山支部

支部長 谷 口 哲 也



紹介議員

櫻 井 清 蔵

草 川 卓 也

船 部 孝 規

深 水 隆 司



【請願趣旨】

義務教育費国庫負担制度は、義務教育の根幹である「無償制」「教育の機会均等」を保障し、「教育水準の維持向上」をはかるため、国が責任をもって必要な財源を措置するとの趣旨で確立された制度です。教育の全国水準と機会均等を確保する義務教育の基盤をつくるためには、必要な財源を安定的に確保することが不可欠です。

現行制度においては、「職員の給料その他の給与及び報酬等に要する経費」が国庫負担の対象とされています。しかし、義務教育の水準を安定的に確保するためには、一般財源ではなく、国庫負担金による財源確保の対象の拡大、さらにはその増額が必要です。

未来を担う子どもたちの「豊かな学び」を保障することは、社会の基盤づくりのために極めて重要です。義務教育については、国が責任を果たすとの理念にたち、教育に地域間格差が生じないように、必要な財源を確保する義務教育費国庫負担制度の存続はもとより、措置の対象の拡充をふくめた制度の更なる充実が求められます。

以上のような理由から、義務教育費国庫負担制度の充実を強く要望するものです。

【請願事項】

義務教育費国庫負担制度が充実され、国の責務として必要な財源が確保されるよう採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。